

# 令和4年度 上尾市水道事業実動班 活動報告

上尾市水道事業では、来たる大規模地震や風水害への備えとして、災害対応に特化した「実動班」を令和2年3月に編成いたしました。

「実動班」では、大規模災害を想定した各種の講習会や訓練を重ねることで、迅速な災害対応ができる職員を育成しています。

## 応急給水訓練(給水車による給水)を実施しました

令和4年7月7日(木)、14日(木)に、**給水車を使用した応急給水訓練**を実施しました。

具体的には、**給水車※から受水槽へ応急給水**することを想定し、給水車1台を受水槽に見立て、もう1台の給水車からタンク内の水を圧送する訓練となります。災害や事故時などに、受水槽を有する施設への応急給水を行うための、有効な手段となります。

(※)上尾市では、給水車を2台(タンク容量2,000ℓと1,800ℓ)保有しています。



### 《訓練前の全体説明》

- ・ 上尾市上下水道庁舎敷地内にて全体説明。  
(受水槽への応急給水の有効性や作業の注意点を解説)
- ・ 次頁以降に実際の訓練状況を掲載しています。

# 応急給水訓練の訓練状況



- ① 給水車側方にある給・排水口にホースを接続します



- ② 給水車のエンジン動力を利用して、受水槽に見立てた給水タンク上部から給水します

# 多くの実働班員が訓練を実施しました

- ・ 総勢20名(10組)の実働班員が訓練を実施



《給・排水レバー開閉の合図》



《エンジン動力切替え》



《給水ホース取付金具取出し》



《給水ホース取付》



《給水車タンクへの給水》



《切り替えコック操作》

## 応急給水訓練(HIVP管の接合)を実施しました

令和4年7月25日(月)、8月4日(木)に、**応急給水や給水の復旧で、使用が想定される HIVP管※の接合**を実施しました。

事故や災害等が発生した際、給水装置工事業者や応援水道事業体への確かな指示を行うため、また、緊急時には、自ら応急給水を行うため、HIVP管の接合訓練を実施しました。

具体的には、HIVP管を所定の長さに切断、接着剤を塗布し、ソケット(継手)を用いて接合し、応急給水栓を作製する訓練となります。

(※)耐衝撃硬質ポリ塩化ビニル管



《技術顧問から接合方法について説明を受けている》

- ・ 上尾市上下水道庁舎内にて全体説明
- ・ 次頁以降に実際の訓練状況を掲載しています。

# 応急給水訓練の作業状況

- ・ 総勢20名(10組)の実動班員が訓練を実施



《切断》



《面取り》



《接着剤塗布》



《接合》

## そのほかの活動

令和4年8月18日(木)に、上尾市内での濁水発生を想定して、**濁水を解消するため**、仕切弁操作による**管洗浄訓練**を実施しました。

仕切弁操作 5名、交通誘導員 4名、計9名が訓練を実施しました。



《訓練前のミーティング》

令和4年8月25日(木)に、約50年に渡る技術顧問の経験とそれをどう捉えてきたかを学び、実働班の活動にも継承していくことを目的とし、技術顧問による**上尾市水道事業の歴史**についての講話を聴講しました。

講話の内容は、世界の水道の歴史、上尾市の水道の歴史、水道からみた日本の地形の特徴、蛇口から直接水を飲むことの価値、日本経済や上尾市の移り変わり、水道施設の設計・施工管理など多岐にわたりました。



《技術顧問の講話を聴講する様子》